

2017年度 日本文化人類学会  
第6回理事会 議事録(案)

日時：2018年2月3日(土) 14:00～17:30

会場：東京大学 東洋文化研究所 第一会議室

<出席者>松田、綾部、伊藤、小田、川田、栗本、慶田、白川、棚橋、中谷、名和、速水、箭内

<委任状提出>宇田川、岡田、桑山、湖中、田中、佐々木、高倉、真島、三尾、森山

**〔承認事項〕**

1. 2017年度第5回理事会議事録
2. 新入会員(5名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 日本オセアニア学会より創立40周年記念シンポジウムの後援依頼があり、総務会で検討の結果、後援を承認したことを報告の上、事後承認。

**〔報告事項〕**

1. 会長報告
  - ・前回理事会で、これからのアイヌ研究のあり方と研究倫理委員会の設置にあたり、本学会から委員として推薦した太田好信会員(九州大)より、1月10日に開催された「これからのアイヌ人骨/副葬品に係る調査研究のあり方に関するラウンドテーブル(第13回)」と「研究倫理委員会準備委員会(第1回)」について報告書が提出されたこととその内容を説明。今後も報告や理事会審議が必要な案件があれば随時対応していくことを確認。
2. 庶務理事報告
  - ・第14回(平成29年度)日本学術振興会賞受賞者として石井美保氏、第8回(平成29年度)育志賞受賞者として難波美芸氏が、それぞれ本学会からの推薦で内定したことを報告。
  - ・日本学術振興会賞推薦依頼について、本年も推薦依頼が届いた場合、例年通りの手順で理事・評議員への推挙依頼を行った後、教育委員会と総務会で選考を進めることを確認。
  - ・第28回評議員選挙の投票用紙の発送作業が1月21日に終了したこと、2月9日消印有効で投票締切のあと、2月20日に開票作業を予定していることを報告。
  - ・2017年度事業報告、2018年度事業計画案について、原案を理事会メーリングリストで配信するので、各担当理事は原案に加筆修正の上、川田理事へ送信することを依頼。
3. 会計理事報告
  - ・『文化人類学』82巻3号に広告が掲載され広告代理店に広告料の請求を行ったこと、以前の理事会で承認された広告料の定価が税別で設定されていたが、今回は消費税を請求しないこととしたことを報告。
4. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき9件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
5. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：82巻3号の刊行を報告。
  - ・JRCA編集委員会：Vol.18-1の刊行とVol.18-2の進捗状況を報告。
  - ・「国際情報発信強化」特別委員会：2017年12月28日に国際シンポジウム(於首都大学東京)が開催されたことを報告。
  - ・国際化グローバル化対応委員会：①窪田幸子委員よりWCAA Organizing committeeメンバーの任期が終了するため、次期WCAA会長立候補の打診があったことが報告されたが、立候補の必要はないとの判断を松田会長から伝えたことを報告。②WCAAの多言語ブログについて日本の担当期間が終了したことを報告。問題点として、日本語と英語で掲載していたため英語表現に関する指摘を受けたが、そもそも多言語ブログ(英語ネイティブではない)であるためこのような指摘は馴染まないということ、このままでは英語ネイティブしかブログの引き受け手がいなくなってしまうという懸念が今期の担当者より伝えられたことを報告。③WCAAが実施する調査“Global Survey of Anthropological Practice

(GSAP)”について JASCA-INFO で会員へ協力依頼を行ったことを報告。

- ・研究大会実施委員会：第 52 回研究大会で予定されている韓国人類学会とのラウンドテーブルへの参加については個人発表の件数に含めないことを報告。
- ・研究発表査読委員会：第 52 回研究大会発表要旨の査読結果の概要を報告。
- ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。

#### 〔審議事項〕

1. 課題研究懇談会新規設置申請
  - ・課題研究懇談会担当委員会より、新規課題申請の選考結果が報告され、審議の結果、原案を若干調整の上、承認された。選考結果については申請者に個別に通知することとし、通知内容については課題研究懇談会担当委員会で検討することとした。
2. 医療者向け人類学教育連携委員会からの JASCA-INFO 送信について
  - ・前回理事会で説明された「文部科学省 大学における医療人養成の在り方に関する調査研究班」からの協力依頼を受け、医学生向けの教育に関心のある文化人類学者のリスト化や、どのような方が協力してくれるか等の情報を収集するため JASCA-INFO への配信及び配信文案が提案された。審議の結果、アンケートの意図や目的が会員に伝わるよう文言調整を行った配信文案を委員長が作成し、総務会で確認の上、JASCA-INFO へ配信することが承認された。
3. 英文誌 *JRCA* の体裁および内容の変更に関する提案
  - ・速水理事より、前回理事会での議論を受けて、下記①②③について提案があり、審議が行われた。
    - ① *JRCA* のページフォーマット変更に関し、紙の種類や判型の変更の提案があり、審議の結果、用紙は白目の書籍用紙とし、判型は他の雑誌にも多い 155mm×217mm(『社会人類学年報』と同サイズ)とする方向で合意に達したが、今回の理事会は出席者が少ないため理事会メーリングリストで決定した内容を配信し確認することとした。また、表紙についても委員会で提出したイメージに基づいて印刷会社にサンプル作成を依頼中であることが報告され、次回理事会で審議することを確認した。
    - ② 和文誌に掲載された英文要旨を *JRCA* に掲載する件について、より具体的に語数や、それに関わる投稿規程改定の必要性、掲載スケジュール等について説明があり、審議の結果、基本的な趣旨について提案が承認された。本件についても理事会メーリングリストへ内容を配信することとした。また、英文要旨の掲載にあたり、著者の業績カテゴリーは「その他」と位置づけることを確認した。
    - ③ *JRCA* 掲載論文の規定語数に関して、現行の語数では少ないため、特集論文を 5000 語から 10000 語、論文を 10000 語から 12000 語、研究ノートを 5000 語から 8000 語にそれぞれ変更することが提案され、承認された。
4. 日本文化人類学会賞選考委員会提案
  - ・学会賞選考委員会より、第 13 回学会賞の選考経緯と選考結果の報告がなされ、審議の結果、原案通り承認された。また、委員会において現在の推薦及び選考方法、投票率、推薦母体に関する問題点が指摘されたことが報告され、次期委員会へ申し送ることとした。選考結果については、例年通り JASCA-INFO 及び学会 HP で周知を行うこととした。
5. 日本文化人類学会奨励賞選考委員会提案
  - ・奨励賞選考委員会より、第 13 回奨励賞の選考経緯と選考結果の報告がなされ、審議の結果、原案通り承認された。選考結果については、例年通り JASCA-INFO 及び学会 HP で周知を行うこととした。
  - ・同一人物が複数回受賞することに関する規程がなく、委員会で判断の上選考を行ったことが報告された。本件については次期委員会で判断するよう申し合わせを作成することとした。
6. 法人化関連（定款案最終検討等）
  - ・欠席の三尾理事に代わり川田理事より、法人化定款案に関し、司法書士に相談してアドバイスを受けた箇所や前回提案以降の変更点について説明がなされ、定款案の最終チェックを行った。変更部分について確認の上、承認された。
7. 名誉会員の推戴について
  - ・川田理事より、名誉会員に関する内規第二章第二条について、例年、年度最終回からひとつ前の理事会で推戴があるかどうかを理事会に確認することになっていること、推戴候補者の推薦があった場合

には次回理事会で審議することを確認した。本件については理事会メーリングリストでも配信することとした。

8. 文科省関連要望書について

- ・川田理事より、例年、文部科学省初等中等教育局教職員課課長と文部科学省初等中等教育局局長宛に要望書を送付しているが、内容が古くなってきているため、現在の初等中等教育の状況に合わせて検討が必要であることが説明された。検討の結果、要望書については総務会で原案を作成し、文化人類学教育委員長の確認を経た上で次回理事会で提示することとした。

9. 学会員の遺志にもとづく信託基金事業について

- ・松田会長より、逝去された会員の遺志による本学会への遺贈について、遺言執行会社より連絡があったこと、経緯及び遺贈の内容が説明された。意見交換の結果、疑問点等について遺言執行会社へ詳細を問い合わせることとし、問い合わせ及び本件に関する判断については総務会に一任することとした。

10. その他

- ・松田会長より、東アジアネットワークの構築に関し、12月29日に王銘銘教授(北京大学)と劉正愛教授(中国社会科学院民族学-人類学研究所)と意見交換を行ったことと、中国文化人類学関係組織や学術雑誌の状況について説明がなされた。また、12月28日に韓国文化人類学会のチョン・ビョンホ会長と韓国と日本の文化人類学会の組織的連携の試行について提案がなされた。主な連携事業として、韓国文化人類学会と本学会のそれぞれの学会誌の掲載論文をお互いの学会誌に査読無しの招待論文として掲載することが提案され、次回理事会で検討を行うこととした。
- ・綾部理事より、2017年度予算からの支出予定がある場合、各担当理事は3月16日までに事務局か綾部理事まで連絡することとした。
- ・2017年度第7回理事会は2018年3月16日(金)14:00～、東京外国語大学本郷サテライトにて開催予定。

以上